



## 平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東 名

上場会社名 朝日インテック株式会社

コード番号 7747 URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮田 昌彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 瑞穂

TEL 052-768-1211

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	9,988	△2.4	3,113	△1.7	3,115	△2.9	2,324	△0.6
28年6月期第1四半期	10,234	24.1	3,167	53.5	3,208	45.0	2,338	55.2

(注)包括利益 29年6月期第1四半期 2,166百万円 (69.8%) 28年6月期第1四半期 1,275百万円 (△48.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	36.74	36.41
28年6月期第1四半期	36.98	36.65

(注)当社は、平成27年8月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第1四半期	49,573	32,753	66.0
28年6月期	50,286	32,263	64.1

(参考)自己資本 29年6月期第1四半期 32,739百万円 28年6月期 32,243百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年6月期	—	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	0.00	—	27.40	27.40

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,633	△1.6	4,815	△15.4	4,763	△16.6	3,322	△18.4	52.53
通期	40,005	1.2	10,053	0.5	9,996	5.0	6,928	0.3	109.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期1Q	64,280,000 株	28年6月期	64,148,800 株
② 期末自己株式数	29年6月期1Q	911,890 株	28年6月期	911,890 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期1Q	63,275,590 株	28年6月期1Q	63,233,159 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
(1) 地域ごとの情報	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、現在進行している中期経営計画『Global Expansion 2018』において、「グローバル規模での収益基盤の強化」「患部・治療領域の拡大と製品ポートフォリオの拡充」「素材研究・生産技術の強化によるイノベーション創出」「グループマネジメントの最適化」を経営戦略に掲げ、企業価値向上に取り組んでおります。

その実現に向けた施策として、当第1四半期連結累計期間では、日本市場にて、当社の事業領域として新たな分野である胆管・膵管・消化管分野の内視鏡ガイドワイヤー「M-ThroughTM」(エムスルー)を販売開始いたしました。また海外市場では、日本市場で既に販売し高い評価を得ております循環器系領域の貫通カテーテル「Caravel(カラベル)」やPTCAガイディングカテーテル「Hyperion(ハイペリオン)」、そして非循環器である末梢血管領域のペリフェラルガイドワイヤーについて、欧州市場での限定販売を開始いたしました。

今後におきましても、中期経営計画に基づく成長戦略を着実に進めていくことにより、企業価値の拡大を目指してまいります。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は、従前に引き続き需要は堅調なもの、為替動向及び医療償還価格の下落などの外部要因影響により、99億88百万円(前年同期比2.4%減)となりました。

売上総利益は、好調な受注と生産性の向上などに伴い売上総利益率が上昇し、68億17百万円(同2.2%増)となりました。

営業利益は、研究開発費や海外市場における販売・マーケティングの強化に伴う営業関係費用の増加により、販売費及び一般管理費が増加し、31億13百万円(同1.7%減)となりました。

経常利益は、固定資産売却益が減少し、31億15百万円(同2.9%減)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、23億24百万円(同0.6%減)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における外国為替レート実績は、下記となります。

1米ドル=102.42円(前年同期121.73円、比15.9%減)

1タイバーツ=2.94円(前年同期3.40円、比13.5%減)

1ユーロ=114.26円(前年同期135.92円、比15.9%減)

1中国元=15.35円(前年同期19.23円、比20.2%減)

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## (メディカル事業)

メディカル事業は、国内・海外市場ともに需要は堅調ですが、為替動向及び医療償還価格の下落の外部要因影響があり、横ばいに推移いたしました。

国内市場においては、循環器系領域の貫通カテーテルについて、新製品「SASUKE(サスケ)」が大きく伸張したものの、平成28年4月の医療償還価格の引下げによる影響を受け、売上高は横ばいに推移いたしました。

海外市場においては、循環器系領域のPTCAガイドワイヤーや貫通カテーテル、非循環器である末梢血管領域のペリフェラルガイドワイヤーの売上数量が増加傾向にありますが、為替影響を受け、売上高は横ばいに推移いたしました。なお、中国市場の循環器系製品は、販売戦略を見直し、当第1四半期連結累計期間より複数代理店に販売する方式に変更しておりますが、当変更に伴い、受注数量は大幅に増加し、順調に推移しております。

以上の結果、売上高は79億42百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

また、セグメント利益は、研究開発費及び営業関係費用の増加により販売費及び一般管理費が増加したものの、好調な受注と生産性の向上による売上総利益率の上昇などにより、29億40百万円(同6.7%増)となりました。

## (デバイス事業)

デバイス事業は、医療部材及び産業部材の売上高が共に減少いたしました。

医療部材については、海外市場において、米国向けの循環器系検査用部材の供給などが増加したものの、為替影響を受け、売上高は減少いたしました。

産業部材につきましては、国内の建築関係の取引が増加したものの、米国向けレジャー取引の減少や為替影響を受け、売上高は減少いたしました。

以上の結果、売上高は20億46百万円(前年同期比12.0%減)となり、セグメント利益は6億34百万円(同22.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当四半期連結会計期間末の資産につきましては、総資産額が495億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億12百万円減少しております。主な要因は、受取手形及び売掛金が5億29百万円、原材料及び貯蔵品が1億31百万円、その他有形固定資産が8億1百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が21億68百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、負債合計額が168億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億2百万円減少しております。主な要因は、未払法人税等が4億45百万円、その他流動負債が3億76百万円及び役員退職慰労引当金が6億37百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産につきましては、純資産合計額が327億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億89百万円増加しております。主な要因は、利益剰余金が4億27百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は当初予想に比べて大変好調に推移いたしました。第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の見通しにつきましては、当第1四半期連結会計期間で未発生費用が今後発生することが見込まれること、為替動向が不透明であることなどから、修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,935,673	10,767,479
受取手形及び売掛金	6,946,888	7,476,615
電子記録債権	392,200	449,121
商品及び製品	2,594,989	2,559,012
仕掛品	2,833,207	2,870,541
原材料及び貯蔵品	2,866,561	2,998,206
その他	1,796,777	1,876,933
貸倒引当金	△14,305	△14,109
流動資産合計	30,351,993	28,983,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,041,567	5,936,678
その他(純額)	9,864,612	10,666,490
有形固定資産合計	15,906,179	16,603,169
無形固定資産		
投資その他の資産	3,423,290	3,418,346
固定資産合計	19,934,562	20,590,159
資産合計	50,286,556	49,573,959

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,387,105	1,367,075
電子記録債務	299,204	267,454
短期借入金	3,092,121	4,930,806
未払法人税等	1,011,514	565,801
賞与引当金	417,905	607,624
その他	3,169,601	2,793,167
流動負債合計	9,377,451	10,531,929
固定負債		
長期借入金	6,361,095	3,922,773
役員退職慰労引当金	662,253	24,908
退職給付に係る負債	765,587	771,245
その他	856,495	1,569,534
固定負債合計	8,645,430	6,288,461
負債合計	18,022,882	16,820,390
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,370,040	4,483,258
資本剰余金	6,109,376	6,222,593
利益剰余金	24,498,164	24,925,526
自己株式	△3,006,382	△3,006,382
株主資本合計	31,971,199	32,624,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	660,036	641,534
為替換算調整勘定	△302,526	△447,191
退職給付に係る調整累計額	△84,915	△79,443
その他の包括利益累計額合計	272,594	114,899
新株予約権	19,880	13,674
純資産合計	32,263,674	32,753,569
負債純資産合計	50,286,556	49,573,959

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	10,234,272	9,988,346
売上原価	3,566,064	3,170,978
売上総利益	6,668,207	6,817,367
販売費及び一般管理費	3,500,730	3,703,529
営業利益	3,167,476	3,113,837
営業外収益		
受取利息	929	1,890
受取配当金	2,914	2,999
固定資産売却益	122,148	3,134
関税還付金	717	5,439
その他	17,066	8,053
営業外収益合計	143,776	21,518
営業外費用		
支払利息	8,493	7,012
為替差損	87,653	5,090
その他	6,384	7,761
営業外費用合計	102,531	19,864
経常利益	3,208,721	3,115,492
特別利益		
新株予約権戻入益	60	-
特別利益合計	60	-
特別損失		
投資有価証券評価損	750	-
特別損失合計	750	-
税金等調整前四半期純利益	3,208,031	3,115,492
法人税、住民税及び事業税	900,415	593,793
法人税等調整額	△30,906	197,230
法人税等合計	869,508	791,024
四半期純利益	2,338,522	2,324,468
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,338,522	2,324,468



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	2,338,522	2,324,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△142,410	△18,501
為替換算調整勘定	△922,807	△144,665
退職給付に係る調整額	2,607	5,471
その他の包括利益合計	△1,062,609	△157,695
四半期包括利益	1,275,913	2,166,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,275,913	2,166,772

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディカル事業	デバイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,908,763	2,325,508	10,234,272	—	10,234,272
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,129	564,550	571,679	△571,679	—
計	7,915,893	2,890,058	10,805,951	△571,679	10,234,272
セグメント利益	2,755,184	817,149	3,572,334	△404,857	3,167,476

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディカル事業	デバイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,942,116	2,046,230	9,988,346	—	9,988,346
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,675	494,881	510,557	△510,557	—
計	7,957,792	2,541,112	10,498,904	△510,557	9,988,346
セグメント利益	2,940,910	634,517	3,575,427	△461,589	3,113,837

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## (1) 地域ごとの情報

売上高

(単位：千円)

日本	アジア	米国	欧州・中近東	その他	合計
4,230,691	1,948,103	2,051,369	1,561,897	196,284	9,988,346